

「地域キャリア教育支援協議会設置促進事業」実施報告書

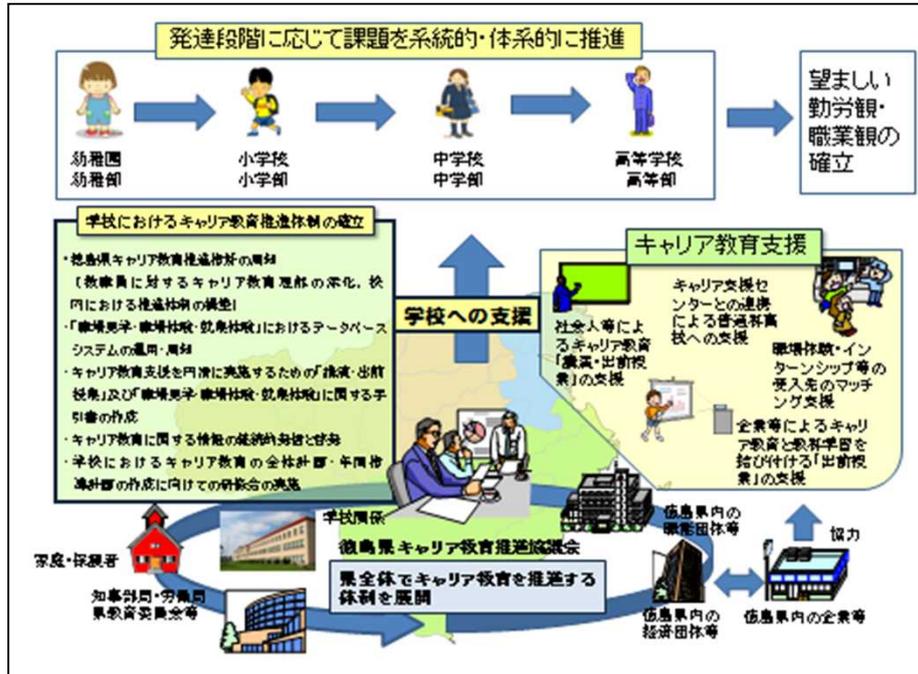
1. 実施主体	
本事業を受託し、協議会の核となる自治体、もしくは経済団体等名	徳島県教育委員会
2. 現状及び課題	
地域内でのキャリア教育に関する現状	<p>本県においては、平成25年3月に「徳島県教育振興計画(第2期)」を策定し、「新たな価値を創りだし、未来へ飛躍する人を育てる教育の実現」に向けての最重要事項の1つに「キャリア教育の推進」を位置付けている。平成25年3月には学校におけるキャリア教育の現状を把握するために「キャリア教育に関するアンケート調査」を実施し、その結果から、学校におけるキャリア教育の推進に向けた組織体制や教職員のキャリア教育に対する理解が不十分であることがわかった。</p> <p>本県においては、これらの課題を解決するために、昨年度「地域キャリア教育支援協議会設置促進事業」の委託を受け、「徳島県キャリア教育推進協議会」を立ち上げるとともに、協議会での協議・検討により、学校においてキャリア教育を推進する上で指針となる「徳島県キャリア教育推進指針」を策定し、平成26年4月に各学校に送付するとともに、概要版を作成し、小・中・高・特別支援学校の全教員に配付を行った。</p> <p>今後は本指針の内容について周知を行うとともに、児童生徒の社会的・職業的自立に向けて必要とされる能力や態度を培うために、各学校において発達段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育を推進するとともに、学校と家庭・地域、産業界が連携して体験的な学習活動等を充実させていくことが求められている。</p>
地域内でのキャリア教育に関する課題	<p>平成25年3月に県下の小中学校・高等学校を対象にキャリア教育に関するアンケート調査を実施し、その結果と全国調査結果との比較検討、並びに「平成25年度全国学力・学習状況調査学校質問紙」等の調査結果から、次のような課題が明らかになった。</p> <p>(1) 子供たちの働くことへの意欲は高いが、職業に対する理解が不十分である。</p> <p>(2) 子供たちに将来の夢や目標に向かって努力する気持ちや、課題に対してたくましく対応しようとする意識が低い。</p> <p>(3) 子供たちの地域や社会の出来事への関心や自己肯定感が低い。</p> <p>(4) 学校におけるキャリア教育を推進するための組織体制が整っていない。</p> <p>(5) 体験的な学習活動を実施するための受入先の確保が必要である。</p> <p>(6) 本県における新規高等学校卒業就業者の卒業後3年以内の離職率は全国水準を上回っている。</p> <p>以上の課題を解決するために、平成26年3月に「徳島県キャリア教育推進指針」を策定するとともに、体験的な学習活動の一環である「職場見学・職場体験・就業体験(インターンシップ)」の実施や受入先の情報を一元化し、学校が直接閲覧できるデータベースシステムを構築した。</p> <p>今後は指針の内容やデータベースシステムについて学校や教職員に周知するとともに、学校におけるキャリア教育の推進体制の構築に向けて、支援していくことが課題である。</p>

3. 委託内容に対する取組

(1) 学校におけるキャリア教育に対する支援を目的として、地域の関係者が参画する会議体の設置及び運営

本会議は、県教育委員会が事務局となり、幼・小・中・高・特別支援学校の各代表及びPTA代表、県内経済団体(7団体)、職業能力開発関連団体(3団体)、「地域中小企業の人材確保・安着支援事業」事業者並びに国・県の労働行政組織から構成され、徳島県全体の産業界、地域・家庭等が幼・小・中・高・特別支援学校におけるキャリア教育推進に向けて、協議等を行った。

地域の推進体制(図などを用いて地域全体の体制が分かるように示すこと)



団体名	役割
徳島県商工会議所連合会	企業側の立場から、「徳島県キャリア教育推進指針」の周知・推進及びキャリア教育支援における「講演・出前授業」や「職場見学・職場体験・就業体験(インターンシップ)」の円滑な実施や実施に関する手引書作成等に向けての連携・協力に関して協議・助言を行う。
徳島県商工会連合会	
徳島県中小企業団体中央会	
一般社団法人徳島経済同友会	
徳島県経営者協会	
徳島県信用保証協会	
徳島県中小企業家同友会	
一般社団法人徳島ニュービジネス協議会	約160社の企業等が会員となり、起業家セミナーや起業家教育、中学生や高校生に対する企業体験プログラムを実施している立場から、将来の人材育成に向けて必要とされる連携・協力の在り方について協議・助言を行う。
公益財団法人とくしま産業振興機構	職能団体の立場から、「徳島県キャリア教育推進指針」の周知・推進及びキャリア教育支援における「講演・出前授業」の円滑な実施や実施に関する手引書作成等に向けた連携・協力に関して協議・助言を行う。
徳島県職業能力開発協会	
徳島県技能士会連合会	
徳島県商工労働部産業人材育成センター	労働行政関係者の立場から、「徳島県キャリア教育推進指針」の周知・推進及びキャリア教育支援における「講演・出前授業」や「職場見学・職場体験・就業体験(インターンシップ)」の円滑な実施や実施に関する手引書作成等に向けた連携・協力に関して協議・助言を行う。
徳島労働局職業安定部	
徳島県教育委員会学校政策課	徳島県教育委員会の立場から、「徳島県キャリア教育推進指針」の周知・推進及びキャリア教育支援における「講演・出前授業」や「職場見学・職場体験・就業体験(インターンシップ)」の円滑な実施や実施に関する手引書等の作成について協議を行う。

協議会の構成

市町村教育委員会教育長会	市町村教育委員会の立場から、「徳島県キャリア教育推進指針」の周知・推進及びキャリア教育支援における「講演・出前授業」や「職場見学・職場体験・就業体験（インターンシップ）」の円滑な実施や実施に関する手引書等の作成について協議・助言を行う。
鳴門教育大学	大学側の立場から、「徳島県キャリア教育推進指針」の周知・推進及びキャリア教育支援における「講演・出前授業」や「職場見学・職場体験・就業体験（インターンシップ）」の円滑な実施に向けた連携・協力の在り方や実施に関する手引書等の作成に関して専門的知見から助言を行う。
徳島県国公立幼稚園長会	幼稚園側の立場から、「徳島県キャリア教育推進指針」の周知・推進及びキャリア教育支援における職場見学等の円滑な実施や実施に関する手引書等の作成に関して協議・助言を行う。
徳島県小学校長会	小学校側の立場から、「徳島県キャリア教育推進指針」の周知・推進及びキャリア教育支援における「講演・出前授業」や「職場見学・職場体験・就業体験（インターンシップ）」の円滑な実施や実施に向けた手引書等の作成に関して協議・助言を行う。
徳島県中学校長会	中学校側の立場から、「徳島県キャリア教育推進指針」の周知・推進及びキャリア教育支援における「講演・出前授業」や「職場見学・職場体験・就業体験（インターンシップ）」の円滑な実施や実施に向けた手引書等の作成に関して協議・助言を行う。
徳島県高等学校長協会	高等学校側の立場から、「徳島県キャリア教育推進指針」の周知及びキャリア教育支援における「講演・出前授業」や「職場見学・職場体験・就業体験（インターンシップ）」の円滑な実施や実施に向けた手引書等の作成に関して協議・助言を行う。
徳島県特別支援学校長会	特別支援学校側の立場から、「徳島県キャリア教育推進指針」の周知・推進及びキャリア教育支援における「講演・出前授業」や「職場見学・職場体験・就業体験（インターンシップ）」の円滑な実施や実施に向けた手引書等の作成に関して協議・助言を行う。
徳島県PTA連合会	小中学校保護者の立場から、「徳島県キャリア教育推進指針」の周知・推進及びキャリア教育支援における「講演・出前授業」や
徳島市・名東郡小学校・中学校PTA連合会	「職場見学・職場体験・就業体験（インターンシップ）」の円滑な実施や実施に向けた手引書等の作成に向けての連携・協力に関して協議・助言を行う。
徳島県高等学校PTA連合会	高等学校保護者の立場から、「徳島県キャリア教育推進指針」の周知・推進及びキャリア教育支援における「講演・出前授業」や「職場見学・職場体験・就業体験（インターンシップ）」の円滑な実施や実施に向けた手引書等の作成に向けての連携・協力に関して協議・助言を行う。

<p>目標</p>	<p>(1)「徳島県キャリア教育推進指針」の周知や指針にもとづくキャリア教育の推進体制について協議・検討を行うことにより、幼・小・中・高・特別支援学校における系統的・体系的なキャリア教育の推進を図る。</p> <p>(2) 体験的な学習活動の一環である「職場見学・職場体験・就業体験（インターンシップ）」を実施するためのデータベースシステムを周知し、より一層活性化させることにより、多くの児童生徒が、体験的な学習活動に参加できるようにする。</p> <p>(3) 企業・経済団体等と連携した教育活動支援を促進させることにより、児童生徒の学ぶことや働くことへの理解を深め、望ましい勤労観・職業観の確立を図る。</p>
<p>方針</p>	<p>(1)「徳島県キャリア教育推進指針」の周知や、本県学校における系統的・体系的なキャリア教育の推進に向けた方策の推進について協議を行うことにより、学校における組織体制の構築を図る。</p> <p>(2) 企業・経済団体等による「講演・出前授業」の情報や「職場見学・職場体験・就業体験（インターンシップ）」の実施可能企業等と学校とのマッチングを促進することができるデータベースシステムのより一層の活性化を図る。</p> <p>(3) 企業・経済団体による学校におけるキャリア教育の支援としての「講演・出前授業」を促進させるとともに、円滑な実施に向けた学校・企業向けの「講演・出前授業実施の手引書」を作成する。</p> <p>(4) 企業・経済団体による「職場見学・職場体験・就業体験（インターンシップ）」の受入先や参加児童生徒数を増やすための啓発パンフレットや円滑な実施に向けた学校・企業向けの手引書を作成する。</p> <p>(5) 大学のキャリア支援センターと連携し、普通科高校においてセミナーを実施することにより、体験的な学習の一環であるインターンシップへの理解の浸透とともに、学校での現在の「学び」が将来の目標につながり、さらに大学等を卒業後の社会にもつながることを実感させる。</p> <p>(6) 企業等での製品開発に関連する知識・技術と教科学習とを関連させた「講演・出前授業」を促進することにより、地域の企業等の活動についての理解を深め、地域への定着意識を促進させる。</p> <p>(7) 教職員に企業理解を深めるための経済団体と連携した企業見学会を実施するとともに、産業界等からのキャリア教育に関する情報について開拓等を行う。</p>
<p>事業の自立的かつ発展的な運営体制</p>	<p>本協議会は、県労働雇用課と連携して組織を構成し、協議会の運営においては、県労働雇用課と連携して推進する予定であり、県教育委員会学校政策課に事務局を設置する。</p> <p>また、事業の運営については、県教育委員会が中心となり、企業・経済団体等と連携し、各校におけるキャリア教育の推進状況や、職場体験やインターンシップの実施状況などについて報告・検討・協議し、キャリア教育のさらなる推進に向けて協議を行っていく予定である。</p>

(2)学校の教育活動に対して行われる、社会人講師の派遣や企業等が作成する一定の教育コンテンツの提供などによる支援の促進

①支援を提案する支援提供者を開拓すること

「徳島県キャリア教育推進協議会」に参加する経済団体は、県内の幅広い分野の企業が参加しており、支援提供者として、多くの企業からの支援を望むことができるとともに、学校における「講演・出前授業」の講師として支援を望むことができる。

今年度も講師派遣に御支援をいただくとともに、高等学校教員を対象に実施した企業見学バスツアーにおける見学企業についても御紹介いただいた。

また、昨年度より連携している一般財団法人徳島県市町村職員互助会の御支援・御協力により、「出前授業」に参画いただく企業を新規開拓することができた。

さらに、普通科高校へのキャリア教育の推進に向けて、新たな支援の開拓として、徳島大学キャリア支援センターと連携を行い、講演会等への協力依頼を行った。

②支援に関する提案を学校に提示すること。

学校での教育活動に対して、経済団体・企業・大学キャリア支援センターと連携し、学校におけるキャリア教育の推進に向けて支援を行った。

【徳島大学のキャリア支援センターとの連携によるキャリア教育講演会の実施】

普通科高校へのキャリア教育支援として、本年度は、徳島大学キャリア支援センターと連携し、将来の進路・職業選択に向けて「今できることは何か?」、「大学等ですべきことは何か?」について、近い将来と遠い将来を考えさせるための講演会の実施を提示し、県内普通科高校2校において実施した。

【教科等に関連したキャリア教育支援における出前授業】

キャリア教育における教科等との連携の視点から、キャリア教育と教科等との関連を深めることを目的に企業等の社会人を講師に招き、企業での業務と教科学習の関連性を図るための出前授業を提示した。

本支援では、平成25年度に作成された徳島県市町村職員互助会が配付している「サイエンスとくしま(第I・II版)」を活用し、県内企業における業務内容と中学校での「理科」や「技術」の教科学習との関連について企業関係者に授業を行っていただくことにより、現在学んでいる内容が、日常生活や職業生活、科学技術など、より広範な社会で活用されていることに気付かせるとともに、学ぶ意欲の向上や本県企業活動への理解を促すことを目的として、県内中学校に出前授業の内容を提示した。

提案内容

- (1) 体内のバランスを保つイオン飲料(大塚製薬株式会社)
- (2) 未来を照らす白色LED(日亜化学工業株式会社)
- (3) 完全制御型の植物工場(日清紡ホールディングス株式会社徳島事業所)
- (4) 紙を超えた紙“機能紙”(阿波製紙株式会社)
- (5) スマート社会を支えるリチウムイオン電池(パナソニック株式会社徳島工場)
- (6) 患者さんとともにたたかう抗がん剤(大鵬薬品工業株式会社)
- (7) 紫外線から眼を守るスポーツサングラス(山本光学株式会社徳島工場)
- (8) まさつ(転がり抵抗)を減らす省エネ・創エネの切り札(株式会社ジェイテクト徳島工場)
- (9) シンビジウムを大量生産するメリクロン技術(株式会社河野メリクロン)
- (10) 使いやすさや感染防止を考えた輸液容器の進化(株式会社大塚製薬工場)

【学ぶことや働くことへの理解や経済・社会・雇用の仕組み等の理解促進に向けた講演・出前授業】

この支援については、協議会に参加している経済団体等と連携・協議を行い、キャリア教育における「基礎的・汎用的能力」に沿った次の5つの内容で県内の小・中・高・特別支援学校すべてに「講演・出前授業」の募集を提示した。

提示内容

- (1) 向上心や夢を持たせる(自己理解・自己管理能力等の育成)
夢を持つことの大切さ、企業経営者からのメッセージ
- (2) 仕事(会社)を知る(キャリアプランニング能力等の育成)
「ものづくり」などの実演・体験的な学習活動、各企業での業務内容
- (3) 仕事をする上で必要となること(課題対応能力等の育成)
各企業の社員による体験談、ビジネスマナー講習会
- (4) 社会人として必要なこと(人間関係形成・社会形成能力等の育成)
「働くこと」の意義・大切さ・厳しさ・楽しさ、これからの社会で生きていくために必要な力とは
- (5) 社会のしくみを知る(人間関係形成・社会形成能力等の育成)
お金の流れについて、徳島県の産業、労働法の基礎知識

【講演・出前授業等の教育支援活動のデータベースシステムの周知】

平成26年度4月から運用している企業・経済団体等による社会人の講演・出前授業等の教育活動の内容を一覧で紹介するデータベースシステムについて、小・中・高・特別支援学校でキャリア教育を担当している教員を対象に開催した研修会において周知を図るとともに、活用を促した。

3月10日までのデータベースの閲覧数は、1,545である。

③個々の学校のニーズを把握し、そのニーズに応じて支援提供者による提案を紹介すること(マッチング)。

教科等に関連したキャリア教育支援における出前授業の実施においては、県内中学校に広く公募を行うとともに、中学校が希望する企業による出前授業が実施できるように、希望調査を実施するとともに、県教育委員会と企業等との間で協議・検討を行い、応募の中から10校を選定した。

また、学ぶことや働くことへの理解や経済・社会・雇用の仕組み等の理解促進に向けた講演・出前授業では、県内小・中・高・特別支援学校に、内容を提示し、広く公募を募った。

学校から県教育委員会への依頼数は、昨年度より約30%増の72校となり、希望の内容や地域性を考慮し、経済団体等と協議・検討の上、35校を選定した。

さらに、講師選定においては、学校の担当者と経済団体との間で協議を行い、内容や分野別など、学校のニーズに応じて、経済団体が講師を選定することにより、マッチングを図った。

今年度の「講演・出前授業」においては、新たに学校のニーズにより、知事部局である労働委員会と連携するなど、労働法規についても提案した。

(3)学校の教育活動として校外で実施される職場見学、職場体験活動及びインターンシップ等に対する支援の促進

①インターンシップ等の実施場所として児童生徒の受入れを提案する支援提供者を開拓すること。

平成26年4月から、「職場見学・職場体験・就業体験(インターンシップ)」等の実施や受入先の情報を学校が直接閲覧できる「あわ教育サポーター企業等データベースシステム」を運用している。

今年度は、現在運用しているデータベースシステムの掲載企業への聞き取り調査や新規開拓を目的とした業務委託を今年度3月までに行い、充実・拡充を図っている。

委託業務内容

「あわ教育サポーター企業等データベースシステム」に掲載している「職場見学・職場体験・インターンシップ」等の受入企業(130社)への聞き取り調査及び新規開拓

①「あわ教育サポーター企業等データベースシステム」への継続した掲載について

②「あわ教育サポーター企業等データベースシステム」の掲載項目についての追加・変更内容

③「職場見学・職場体験・就業体験(インターンシップ)」及び「講演・出前授業」についての学校からの問合せ

④「あわ教育サポーター企業等データベースシステム」を活用した「職場見学・職場体験・就業体験(インターンシップ)」の実施の有無

⑤受入先企業開拓 県内企業5社

②インターンシップ等に関する支援提供者の提案を学校に提示すること。

今年度業務委託により、充実・拡充した情報をもとに、「あわ教育サポーター企業等データベースシステム」を更新し、学校に対して、平成27年度当初に提示する予定である。

また、聞き取り調査から浮き彫りになったインターンシップ等における企業側からの意見についても研修会等に

おいて学校に提示していきたいと考える。

さらに、今年度は、企業等に対してインターンシップ等の受入れを啓発するリーフレットを経済団体等の御意見を参考に作成しており、今後は広く経済団体等を通して、県内企業に配付をする予定である。

このことにより、インターンシップ等の受入企業の増加が期待できるとともに、企業情報をデータベースシステムに登録し、新たな情報を学校に提示していく予定である。

③個々の学校のニーズを把握し、そのニーズに応じて支援提供者による提案を紹介すること(マッチング)。

平成26年度より運用している「職場見学・職場体験・就業体験(インターンシップ)」等のデータベースシステムについて、その活用状況やデータベースの利用における学校のニーズについて、アンケート調査を平成27年度に予定しており、さらに利用しやすいデータベースシステムを目指す予定である。

また、「就業体験(インターンシップ)」を学校で推進するための啓発リーフレットを作成しており、平成27年度当初に配付し、学校におけるインターンシップの推進につなげ、参加生徒を増やす予定である。

(4)その他の取組

・LINEの活用

高校生に対して、キャリア教育の充実や進路選択の機会の拡充を図るため、様々な情報をスマートフォンを通じて平成25年5月から直接提供しており、平成27年3月16日までに100件の情報を配信した。

現在の登録者数は、2,788名である。提供した内容は、企業経営者からのメッセージ、人事担当者からのアドバイス、県内4大学の学長からのメッセージ、進学情報等である。今年度は、学校用PR版ポスターを作成しており、平成27年度当初に学校・企業・大学に配付・周知することで、登録者数を増やしていきたい。

4. 計画・スケジュール

実施時期	実施内容
9月12日(金)	「徳島県キャリア教育推進協議会」開催(第1回)
11月～	企業・経済団体等による「講演・出前授業」の実施
12月～	企業による「教科等に関連した出前授業」の実施
12月17日(水)	「徳島県キャリア教育推進協議会」開催(第2回)
2月18日(水)	「徳島県キャリア教育推進協議会」開催(第3回)
3月	「講演・出前授業」、「職場見学・職場体験・就業体験」に関する手引書・リーフレット・啓発ポスターの完成

5. 協議会の成果と課題

今年度は、協議会を3回開催し、委員の方々から多岐にわたる様々な御意見をいただいた。

(1)「徳島県キャリア教育推進」の周知についての成果と課題

昨年度、本協議会において「徳島県キャリア教育推進指針」を策定し、今年度は、学校に周知するとともに、次年度に向けて、全体計画の作成について説明会を開催するなど、キャリア教育を体系的に推進するための支援を行うことができた。

課題としては、本指針を広く経済団体や企業、家庭には周知できていない状況である。

委員の方からは、学校のキャリア教育の中で、児童生徒に何を学ばせたいのかを企業にも説明していかないと職場体験やインターンシップを行ってもその目的が達成できないのではないかという御意見をいただいている。

次年度に向けては、「徳島経済産業会館総合支援連携会議」において、指針の内容について説明するとともに経済団体が個別に開催する会議においても説明を行い、周知をしていきたい。

(2) 経済団体・企業等による「講演・出前授業」についての成果と課題

昨年度から実施している「教科等に関連したキャリア教育支援における出前授業」では、新たに実施企業を増やすことができたとともに、「学ぶことや働くことへの理解や経済・社会・雇用の仕組み等の理解促進に向けた講演・出前授業」では、学校からの依頼申込数が昨年より30%増えるなど、学校が児童生徒の職業観・勤労観の育成に向けての意識の高まりが見られた。

「教科等に関連したキャリア教育支援における出前授業」の生徒アンケートからは、出前授業により、理科の学習を大切だと思った生徒の割合が88%となっており、理科の学習への興味・関心が喚起されたと捉えることができる。また、「学ぶことや働くことへの理解や経済・社会・雇用の仕組み等の理解促進に向けた講演・出前授業」における生徒の感想からは、学校での勉強の大切さや社会人として必要とされるマナー、前向きに努力する大切さについて実感することができたと意見が多数あり、学校の教育活動に職業人・社会人の参画に効果が見られた。

課題としては、生徒の理解度についてである。これらの講演や出前授業の内容を難しいと捉えている生徒の割合が約3割に上っており、今後は学校と企業等との打ち合わせを綿密に行うことが必要であるとともに、次年度に向けて、今年度、協議会においての協議・検討により作成した「職業人・社会人による講演・出前授業の手引」を活用した「講演・出前授業」の推進を図っていくことが課題である。

(3)「インターンシップ」等の充実についての成果と課題

今年度は、昨年度構築した「あわ教育サポーター企業等データベースシステム」の周知や充実・拡充を目指し、業務委託を行い、聞き取り調査や新規開拓を行うことにより、企業のニーズや受入先企業を増やすことにつながった。

また、協議会での協議・検討により、学校・企業向けの「職場体験・インターンシップ」推進の啓発リーフレットを作成することができた。

次年度においては、リーフレットを学校や経済団体、企業等に周知し、インターンシップ等の受入先企業や参加生徒を増やすことが課題である。

(4)教職員への企業理解についての成果と課題

今年度は、教職員への企業理解を推進するために、協議会の委員である経済団体の御協力を得て、高等学校教員対象バスツアーを実施した。県内企業3社を見学するとともに、企業の人事担当者から、企業の経営方針や事業活動について、さらに企業が求める人材について説明していただくことにより、教員が実感を持って企業理解につながったとともに、来年度に向けてさらに充実させていくことが課題である。